

神奈川歯科大学 同窓会会報



144号 2026年7月



Kanagawa Dental University Alumni Association

<https://inaoka82.com>



巻頭言	会長 大 舘 満	1
第 100 回代議員会報告		2
令和 7 年度定例総会報告		6
令和 6 年度 一般会計歳入・歳出決算収支計算書		7
令和 8 年度 一般会計歳入・歳出予算／歳出の部 事業運営費内訳明細		8
会務報告（令和 8 年 1 月から 6 月まで）		9
令和 7 年度 第 1 回表彰選考委員会報告		11
令和 7 年度 第 1 回奨学者審議部会報告（在宅審議）		12
学術講演会報告 大河雅之先生講演会報告記	澁 澤 真 美	13
同窓便り 岩手県支部		14
神奈川県支部		15
山梨県支部		16
新潟県支部		17
広島県支部		18
大分県支部		19
卒業生のページ ChatGPT 臨床応用していますか？	北 川 純	20
クラス会報告 16 回生クラス会	北 川 純	22
令和 8 年 春の叙勲 表章・令和 7 年 秋の叙勲 表章・令和 7 年度 表彰		23
被災された同窓生への災害支援に関する経過報告（令和 7 年 12 月～令和 8 年 6 月末現在）		24
お知らせ		25

- 表紙題字：大舘 満 会長
- 表紙写真：大学（募集広報部）よりご提供いただきました。
- P.14～P.19 の「同窓便り」に公益社団法人 日本歯科医師会 広報課より許可をいただき、日本歯科医師会 PR キャラクター「よ坊さん」のイラストを使用しています。

神奈川歯科大学同窓会 会長 大館 満



皆様には日ごろより同窓会活動に対しご理解とご協力を賜り心より御礼申し上げます。

神奈川歯科大学同窓会では一昨年、第71回全国各歯科大学同窓、校友会懇話会を主管し、昨年は神奈川歯科大学同窓会 創立50周年記念事業を開催させていただきました。ともに大きな事業で一年間かけて準備し開催いたしました。

第71回全国各歯科大学同窓、校友会懇話会は令和6年11月16日（土）、パシフィコ横浜 会議センターでの開催で「メインテーマ」は「同窓会活動でのダイバーシティ（多様性）への対応」とさせていただきました。

また、神奈川歯科大学同窓会 創立50周年記念事業は令和7年10月18日（土）に開催させていただきました。記念講演は他の大学関係のみならず経済界からのオファーも高い当校の鹿島 勇理事長にお願いしました。演題は「時間を超えて次のその先へ」で大学の再生、将来への展望等、素晴らしい内容の講演でした。

記念コンサートは現在、日本のソプラノではナンバーワンと評されている高野百合絵さんをお願いしました。講演、コンサートともに大変ご好評をいただきました。

さて、上記のように一昨年、昨年と大きな行事が続きましたので同窓会改革に対する取り組みは十分ではありません。現在、執行部では高齢による会費免除による収入減に対応すべく取り組んでいます。支出削減は緊急な課題でありますので会則改正特別委員会等の協力を得て協議を重ねております。詳細は代議員会でお示しできると思います。

昨年の真夏日も酷暑で山火事も多発し温暖化の影響が大変顕著でした、今年も既に各所で山火事が発生しまた、今年は春から台風に見舞われ台風はかなり増えると予報が出ております。会員の皆様には十分にご注意いただき大過なくお過ごしいただきたく祈念しております。

母校学校法人神奈川歯科大学からは朗報が届いております。今年の国家試験で合格者が400人も減った中で、29校中唯一合格率が上がったのは神奈川歯科大学のみとのことで、既卒者も含めた国家試験への対応の質の高さが改めて評価されています。

令和8年4月の入学生は卒業生推薦枠からの入学生も増え、定員を超え順調に推移しました。しかし少子化の波はますます厳しくなっております、今年度入試も卒業生推薦枠を満たすべく全国の同窓会の先生方の協力をお願いいたします。本年も夏以降、例年と同様新規の学生募集が始まります。同窓会として優秀な学生を集め、母校を応援していきたいと考えております。

本年も卒業生の推薦で子女でない知人、友人、遠縁方でも認める「卒業生推薦枠」を活用してご紹介ください。また、入学金も免除される恩恵もある制度となっていますので、ご紹介のほどよろしく願いいたします。

会員の皆様には今後ともご高配とご指導、ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。

実績と信頼 折り紙付き。



アサヒプリテックは、金属資源のリサイクル事業の分野で、独自技術により皆様から絶大な信頼をいただいております。

業界をリードするシェアを実現しています。
また、お預かりした金属の分析から売却までをWeb上で安全に運用できる

「アサヒメタルアカウントシステム」の提供など、貴金属リサイクルをトータルでサポート。
歯科業界における資源循環サイクルを実現しています。

アサヒメタルアカウントシステム

SDGs 取組実施

アサヒプリテック株式会社

貴金属事業部 / 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー11F
TEL: 03-6270-1820 FAX: 03-6270-1825
URL: <https://www.asahipretec.com/>

営業所 札幌・青森・仙台・新潟・北関東・関東・横浜・甲府・静岡・名古屋・北陸・神戸・岡山・広島・福岡・鹿児島・沖縄



ASAHI PRETEC



第100回代議員会報告

開催報告

2026年2月28日（土）、神奈川歯科大学キャンパスセンター2階「キャンパスホール」において、第100回代議員会が開催された。本代議員会は、代議員64名、予備代議員2名、計66名の出席により、同窓会会則第4章第23条に基づき適正に成立した。

【1】開会の辞と50周年記念事業報告

司会の高橋 朗常務理事による開会宣言の後、相原元一副会長より開会の辞が述べられた。相原副会長は、昨年無事に举行された「同窓会創立50周年記念式典」への会員各位の協力に対し深く謝意を表明した。また、財務健全化の観点から厳命されていた予算節約について、記念誌およびホームページ関連事業の具体例を報告。当初見込まれた予算950万円（記念誌800万円、事務経費150万円）に対し、実経費を記念誌420万円、事務経費130万円に抑え、約400万円の予算を節約した実績が示された。続いて、創立50周年記念事業報告において、桂 一平実行委員長より、式典には来賓101名、会員173名の計274名が参加したことが報告され、予算を大幅に圧縮して滞りなく事業を完了できたことが報告された。

【2】来賓挨拶

1. 学校法人神奈川歯科大学 鹿島 勇理事長

同窓会創立50周年を祝すとともに、大学のプラットフォーム構想の最終フェーズである「ブルーフロント芝浦」の記念式典が今月7日に無事終了し、4月6日の開院に向けて順調に準備が進んでいることを報告。また、2010年より始動した「再生20年構想」が最終段階の5年を迎えるにあたり、学長を除く長たる役職を一新し、4月から新たな体制で臨む方針が示された。さらに、他大学との差別化による「学生定員100%充足」と「大学の永続性担保」を最終目標に掲げ、10年以内に大学の未来を左右する大きな選択の岐路を迎える可能性を示唆。「大学と同窓会は車の両輪」として、次世代への強固なバトンタッチに向けたさらなる連携を呼びかけられた。

2. 神奈川歯科大学 櫻井 孝学長

日頃の学生募集への協力に対する謝辞とともに、客観的な大学情報として「国家試験総合合格率」に関する資料が配付された。櫻井学長は、近年一部の大学で見られる試験受験制限等により新卒合格率の単純比較が難しくなっている背景を説明し、浪人生も含めた「総合合格率」こそが正確な指標であると強調。

本学の総合合格率は、2014年の教学部長・総合教育部長就任以来、一度も全国私立歯科大学の平均を下回っていない実績を提示し、自信を持って周囲に本学を推薦してほしいと訴えられた。なお、現在の入学者募集状況は100名超で推移しており、一般3期や卒業生推薦等の枠を活用したさらなる学生確保への協力を要請された。

【3】大館会長挨拶（同窓会組織の抜本的改革へ）

50周年記念式典の盛会を感謝するとともに、事務局の多大な尽力を労った。同時に、同窓会が直面する極めて深刻な財務危機について言及。高齢会員の増加に伴う「会費免除会員」の比率増大により、会費収入は右肩下がり減少を続けている。大館会長は「現在の予算は削れるところを限界まで下げて組んでいるが、再来年度予算はさらに切り込み、3年後をめどに組織そのものの形を根本的に変える必要がある」と強い危機感を表明。今後の同窓会の在り方について、代議員各位への活発な議論を求めた。

【4】表彰ならびに学内報告

『表彰』

本代議員会において、長年にわたり同窓会および地域歯科医療の発展に多大な貢献をされた会員への表彰、ならびに奨学金の授与が行われた。

- ・「有功章」：土田孝男先生（宮崎県支部・5回生）・中村順三先生（北海道支部・4回生）・杉本康樹先生（石川県支部・7回生）浅井謙次先生（愛媛県支部・6回生）直江祥明先生（福井県支部・9回生）
- ・「表彰」：大鳥居 敬先生（新潟県支部・4回生）
- ・「甲種奨学者賞」：片山裕太先生（大学支部・48回生）

（片山先生は挨拶にて、歯科理工学・歯科材料の基礎研究を臨床へつなげる研究に一層邁進する決意を述べられた。）

また、受賞者を代表して中村順三先生が登壇し、「北海道における神奈川歯科大学の卒業生は個性豊かで優秀であり、大学の評判を高めている自負がある。今後も母校のために力を尽くしたい」と熱い愛校心を語られた。

『学内報告』

大学支部長の槻木恵一先生（24回生）より、本年6月27日・28日に開催される「神奈川歯科大学学会総会」について告知がなされました。今回は3回生の緒方先生による特別講演や若手シンポジウムなど、臨床・基礎を網羅した有意義なプログラムが予定されており、多くの会員の参加が呼びかけられた。

【5】 会務報告および事前質問に対する質疑応答・報告事項

総務、財務、各特別委員会の会務報告、ならびに事前質問に対する審議が行われた。大分県支部の三浦代議員から提出された以下の3つの質問を中心に、執行部との間で活発な意見交換が交わされた。

1. 災害時等の選挙における郵送投票の開票方法について質問（三浦代議員）

質問：天災等で代議員が集合できない緊急時の選挙において、郵送投票の開票の公平性や事務手続きの詳細はどうなっているのか。来年の選挙年に向けて具体的なルールが間に合うのか。

回答（大館会長）：日本歯科医師会や都道府県歯科医師会の先例を参考に、事務局開票をベースとしつつ、公平性担保のため両立候補者が指名した立会人（オブザーバー）の前で開票する流れを想定している。過去の他会での失敗例（投票用紙と送信者が紐付いてしまうミスなど）を教訓に、匿名の厳秘性を守る仕組みを精査する必要がある。ただし、会則・規則改正特別委員会での議論が未だ煮詰まっておらず、現時点で新規則は完成していないため、仮に来年緊急事態が生じた場合は前回（コロナ禍時）と同様の継続措置を取らざるを得ないのが現状である。

2. 会議費・旅費等の支出削減および代議員数の見直しについて質問（三浦代議員）

質問：同窓会の支出削減策として、代議員の選出基準を「各県ごと」から「地区連合会単位」に見直し、現在の75名から47名（約3分の2）に削減する改革を提案する。また、回答に提示されている「オンライン開催」「総会のみへの移行（代議員会廃止）」「旅費手当の減額」についての執行部の意図を問う。特に、現在でも休診手当等の支部負担が大きい中、これ以上の手当削減は小規模支部の負担を増大させる。

回答（大館会長）：提示した項目はあくまで「他団体の合理化手法」を並べたアイデア段階であり、執行部が独断で決定するものではない。交通費等の「見直し」についても、他会にある「支給ゼロ」や「一律削減」などの事例を紹介したものである。今後、オンラインとリアルの併用を含め、どのような形が最も合理的か、9割方詰まった段階で代議員会に諮り、ルールを100%に煮詰めていく方針である。

3. 会費免除要件（75歳以上かつ35年以上）における不公平感の是正質問（三浦代議員）

質問：夫婦で甲種・乙種会員の場合の取扱いや、若くして配偶者を亡くされた場合の甲種移行の不公平感について、昨年直接説明したにもかかわらず議論が進んでいない。また、病気等による閉院など、会員の福祉向上の観点から個別事情を考慮すべきではないか。

回答（大館会長）：1年間進展がなく回答を出せなかったことを陳謝する。現在、高齢免除会員（年4,000円負担）と、支部長申請による完全会費免除会員（廃院・困窮等による免除）との間の不公平感の整理が特別委員会で難航しており、この全体像が決まらなないと個別案件を煮詰められなかったのが実情である。会費免除要件の35年という年数を撤廃すると、「入会後わずか数年で免除になり福祉共済のみを受け取る」といった新たな不合理が生じるため容易ではない。執行部としては、経済的事情等による退会（自然退会）を防ぎ、「会費はなくても会員であり続けていただく」ことを基本に、4,000円の不公平感を含めた会則の整理を引き続き特別委員会に依頼していく。

【6】 当日質問および討議

1. 在宅審議における未回答代議員の責任について 小松代議員（北海道支部）

質問：報告書に記載された在宅審議（表彰者承認）において、74名中12～13名が「未回答」である実態が指摘された。「代議員としての重責がありながら意思表示をしないのは職務放棄ではないか。自覚を促すアタックを行うべきだ」との厳しい意見が寄せられた。

大館会長：事務局から複数回督促を行っているものの毎回一定数の未回答が出る現状を認めつつ、「同窓会の狭い人間関係の中で、特定の個人に対する賛否を明確にすることへの心理的抵抗（名前の漏洩への恐怖）が背景にあるのではないか」との見解を提示。今後は、代議員選任時に責任を持った行動（必ず返事をする、欠席時は予備代議員を立てる等）を支部長を通じて徹底すること、また匿名性が確保できる投票システムの導入などを検討すると回答した。

2. 代議員会のウェブ（オンライン）開催の実現性 岡田代議員（大阪府支部）

質問：「特別委員会の議事録ではリアル開催を望む肯定意見が多数を占めているが、財務改善および遠方からの参加負担を和らげるためにも、ウェブ開催やリアルとの併用（ハイブリッド）を選択肢に加えるべきではないか」との提案がなされた。

大館会長：理事会においては既に8～9割をオンライン会議に移行して費用削減を図っているものの、代議員会については過半数の賛成（会則改正）が必要であるため手続きを慎重に踏むと言及。佐藤情報処理担当常務理事からは、「20人規模のウェブ会議であれば年間2万円程度で容易に運用可能だが、100人規模の代議員会で全員の顔と音声をクリアに繋ぐハイブリッド形式をプロに委託して構築する場合、国会中継のような大規模な設備投資が必要となり、結果的に全員の旅費を支払うよりも高額になるリスクがある。AIや通信技術の進歩を注視しつつ、引き続き検討したい」との技術的見解が示された。

3. 大学の人事刷新に関する質問 長谷川代議員（静岡県支部）

大館会長：4月からの大学人事として副学長（井野先生、山本先生、二瓶先生）、神奈川歯科大学附属横浜研修センター・横浜クリニック院長（鎌田先生）等の内定情報が共有されました。大学支部の槻木先生からは、「4月1日以降の確定人事については公の事実となるため、正式に確定した段階で同窓会報や支部長宛てに通知を出すことが望ましい」との補足がなされた。

附属病院 病院長：20回生 井野 智 → 19回生 木本克彦

横浜クリニック 院長：19回生 木本克彦 → 33回生 鎌田要平

4. 同窓会財務のタイムリミットと抜本的改革への決意 恵谷代議員（岡山県支部）

質問：「特別委員会での議論のタイムリミットはいつなのか。現在のペースでは数年で予算が破綻し、破産を表明する他校同窓会のような事態になりかねない」との極めて重要な指摘がなされた。

大館会長：これに対し、「タイムリミットはあと5年である」と明言。同窓会が保有する事業運営安定化資金（約5,000万円）は繰越金であるが、現在の赤字補填ベース（年1,000万～2,000万円の取り崩し）が続けば3～5年で底をつきます。名簿発行事業の休止等で数百万円単位の節約は進めているものの、人件費などの固定費は削減できず、最終的には事業費をゼロにするか、同窓会の運営システムそのものを完全に作り直すかの二者択一を迫られているという認識が示された。過去に終身会費制（先払い制）を導入した他大学が、資金の使い過ぎによって現在役員会すら開催できない困窮に陥っている事例を挙げ、「神奈川歯科大学として終身会費制への移行（入学生への40万円等の請求）を大学側に打診したものの、税務上のリスクや学生募集への影響から不可能との回答を得た。今後5年間で、事業を徹底的に無くすか、会議を減らすかの苦渋の選択を皆さんと議論していかなければならない」と、同窓会の生き残りをかけた悲壮な決意を語った。

【7】 議事ならびに新規議案（動議）の採決

本代議員会に上程された全ての議案は、慎重審議の後、採決の結果、いずれも挙手多数により可決成立した。

『決算関係（一括上程・可決）』

第1号議案から第10号議案：（令和6年度一般会計、事業運営安定化資金、事業基金、名簿発行事業、福祉共済部、同窓会年金、奨学金基金、前受金、災害支援基金の各歳入出決算、および資産目録に関する件）。七沢久子監事（9回生）より「帳簿、通帳を含め会計監査を厳密に行い、適正かつ適法に管理されている」との監査報告が行われた後、一括採決・可決されました。

『令和8年度予算・事業計画関係（個別採択・すべて可決）』

第11号議案：令和8年度事業計画（案）

第12号議案：令和8年度一般会計-1歳入歳出予算（案）（前年度比で約700万円の歳出削減を図った予算案として承認。）

第13号議案～第20号議案：各種会計予算（案）

第20号議案：「災害支援基金」について、杉本代議員、加藤代議員より「集金事務費」の名目に関する質問があり、大舘会長より『G.I.A提携の所得補償保険の手数料還元分をプールし、被災会員の見舞金として有効活用する口座である』旨の明確化がされた。）

第21号議案：特別会員（新任教授5名：中野 亜希人先生、室町 幸一郎先生、末永英之先生、仲井雪絵先生、脇田 亮先生）の承認に関する件

第22号議案：退会者承認（50名）に関する件

（若手（48回生）の未納退会の多さに対し、井上予備代議員（神奈川県）や中村代議員より『事務局任せにせず、本部・支部・同級生が連携して現住所や背景を追い、勧誘・引き留めの熱意を持つべきだ』との強い要望が出され、金山代議員（北海道）より『本部直属会員の出身地を開示して支部が動けるようにしてほしい』との具体的提案がされた。）

『協議事項からの緊急動議と即時可決（年金制度の廃止）』

協議事項：「2）同窓会年金制度の改廃について」において、木本常務理事より、ジブラルタ生命が扱う同窓会年金への新規加入者がなく、現在1名のみ残る加入者も同窓生ではない一般人（会員診療所のスタッフ）である実態が報告された。紹介代理店としての年間手数料収入はわずか1,992円であり、個人情報開示もなされないことから、理事会として「代理店閉鎖および年金制度廃止」の方針を決定した旨が説明された。

緊急動議：この報告を受け、小松代議員（北海道支部）より「1年先送りせず、この場で即時廃止を進めるべきである」として緊急動議が提出された。代議員会による議案取り上げの承認を経て、以下の2議案が新たに追加上程され、即座に審議・採決された。

第23号議案：神奈川歯科大学同窓会年金制度廃止に関する件

（令和8年3月31日をもって同窓会年金制度を廃止し、残高を雑収入に繰り入れる案：挙手多数により可決成立）

第24号議案：神奈川歯科大学同窓会年金制度規約の改正に関する件

（上記廃止に伴う規約改正文言および「令和8年2月28日より施行する」との附則の改定案：挙手多数により可決成立）

これにより、長年形骸化していた同窓会年金制度の正式な廃止と事務手続きの完了が決定した。

【8】 その他

（会員からの建設的提案）

前川代議員（福井県支部）より、福井県歯科医師会でのペーパーレス化の実績（コピー、郵送料、ファクスを徹底廃止し、年間200万円強を節約）に基づき、「同窓会でも規約改正を待たずに、事前資料のメール配信化など、できる部分からペーパーレス化を徹底してはどうか」との非常に前向きな提案がなされ、会場から大きな拍手が沸き起こった。

大舘会長は「以前、IT環境のない会員からの強い反発に遭い弱気になっていたが、この提案に非常に勇気をいただいた。ぜひそのような方向で、できるところから速やかに進めさせていただきたい」と応じ、会員各位への理解と協力を求めた。

（17時38分 閉会）

令和7年度定例総会報告

令和7年度定例総会～全24議案を一括可決、年金制度廃止や新年度予算案など重要事項を承認～令和8年2月28日（土）17時41分より、神奈川歯科大学キャンパスセンター2階「キャンパスホール」において、令和7年度定例総会が開催された。

当日は朝から続く長丁場の会議の締めくくりとして、全国から集まった代議員・支部長らが見守る中、同窓会の今後を左右する重要な議案の審議が行われた。

■ 開会および役員選出

総会は高橋常務理事の司会進行のもとで幕を開けました。はじめに上岡新二副会長が登壇し、「本日最後の会となります。先生方、お疲れ様です」と出席者を労い、開会の辞を述べた。続く議長・副議長の選出では、場内からの「一任」の声を受け、司会者一任により議長に飯塚 務先生、副議長に早野元晴先生が選出された。議長に就いた飯塚先生は「スムーズな審議をよろしくお願いいたします」と挨拶し、直ちに議事録署名人の選出へ移った。こちらは一任の声に基づき、議長より北海道の小松 始先生、同じく北海道の金山美博先生の両名が指名され、承認された。

■ 会長挨拶

代議員会での活発な議論に感謝、大館 満会長からの挨拶では、「普段は割愛ということで終わらせることもあるが」と前置きしつつ、「本日は代議員会の協議において、非常に活発にご意見を賜り、心から感謝しております」と、総会に先立って行われた会議での熱心な議論に対する謝意が示され、本総会への協力が呼びかけられた。

■ 代議員会報告

年金制度廃止に関する急遽の上程報告事項では、篠原一也代議員会議長が登壇した。篠原議長からは、事前の代議員会において第1号議案から第22号議案までが可決成立したことが報告された。

さらに、今回の重要なトピックとして、協議事項に挙げられていた「年金制度の廃止」について触れられました。

この件は規則の改正にも直結することから、いきなり議案として上がることとなり、急遽「第23号議案」および「第24号議案」として上程され、代議員会において可決された経緯が詳しく報告された。

■ 議事審議

全24議案を一括採決議事に入り、飯塚議長より、先ほどの代議員会報告を踏まえて第1号議案から第24号議案までの全24議案を「一括上程」することが提案された。

「第24号議案：神奈川歯科大学同窓会年金制度規約の改正に関する件」議長から場内へ質問を募ったところ、質問は「なし」との声があり、直ちに一括採決へと移った。

議長が同調者へ挙手を求めたところ、「挙手多数」となり、全24議案はすべて原案通り可決・確定した。

■ 閉会の辞

執行部としての責任ある運営を誓うすべての議事をスムーズに終え、最後に山口幸一副会長による閉会の辞が述べられた。山口副会長は、「支部長におかれましては朝の11時からの長丁場となり、最後まで残られた方は、非常に責任感の強い代議員、または支部長の方々であると思っています」と出席者の深い責任感に敬意を表した。そして、「先ほど来、代議員会でも『責任をもって』という言葉が交わされた。今後も執行部といたしまして、責任をもって同窓会の会務運営をして参りたい」と今後の強固な組織運営への決意を語り、出席者への感謝とともに締めくくった。場内からは温かい拍手が送られ、17時46分、令和7年度定例総会はその幕を閉じた。

令和6年度 一般会計歳入・歳出決算収支計算書

自：令和6年4月1日
至：令和7年3月31日
(単位：円)

『歳入の部』	令和6年度予算額		令和6年度決算額	
1. 会費	2,524 口	34,410,000	2,498 口	34,270,000
2. 入会金	54 口	1,620,000	47 口	1,410,000
3. 負担金収入（甲種）	363 口	1,452,000	350 口	1,400,000
4. 学術収入		600,000		1,646,000
5. 繰入金		75,000		75,000
6. 寄付金		1,000		0
7. 雑収入		994,000		1,138,680
①預金利息（一般会計）		500		4,449
②預金利息（特別会計）		500		9,493
③広告料		850,000		999,680
④カード手数料		140,000		125,058
⑤その他		3,000		0
8. 繰越金		16,000,000		6,330,678
9. 事業運営安定化資金より受入金		3,500,000		3,500,000
歳入合計		58,652,000		49,770,358

『歳出の部』	令和6年度予算額		令和6年度決算額	
1. 事業運営費		46,794,000		37,812,256
内、予備費		1,006,000		
2. 事業運営安定化資金		1,000,000		1,000,000
3. 事業基金会計		5,084,000		5,056,000
	甲種（2,542 口）		甲種（2,528 口）	
4. 福祉共済部会計		5,774,000		5,696,000
	甲種（2,542 口）		甲種（2,528 口）	
	乙種（345 口）		乙種（320 口）	
5. 奨学金基金会計		0		0
歳出合計		58,652,000		49,564,256
次年度繰越金（収支差額）				206,102

神奈川歯科大学同窓会
会長 大 舘 満 殿

監 査 報 告 書

私達は、会則第12条の定めに従い、神奈川歯科大学同窓会の令和6年4月1日から令和7年3月31日までの令和6年度会計並びに会務執行の監査を行った。

令和6年度会計に於ける歳入・歳出に関する決算書について、精密なる監査を実施せるところ、証拠書類その他についていささかも不備が認められなかったことを証明する。

また、会務の執行については、会則に準拠し適切妥当に執行されたものであることを認める。

令和7年5月17日

監 事 細 谷 孝 明

監 事 奥 村 敏 之

監 事 七 沢 久 子

令和 8 年度 一般会計歳入・歳出予算

自：令和 8 年 4 月 1 日
至：令和 9 年 3 月 31 日
(単位：円)

『歳入の部』	令和 7 年度予算額	令和 8 年度予算額
1. 会費	32,240,000	29,565,000
2. 入会金	1,620,000	1,380,000
3. 負担金収入	1,756,000	1,956,000
4. 学術収入	600,000	600,000
5. 繰入金 同窓会年金会計より	0	0
6. 寄付金	1,000	1,000
7. 雑収入	524,000	424,000
8. 繰越金	18,695,000	0
9. 一般会計 - 2 (事業運営安定化資金) より受入金	0	9,500,000
歳入合計	55,436,000	43,426,000

『歳出の部』	令和 7 年度予算額	令和 8 年度予算額
1. 事業運営費 内、予備費	43,080,000 (1,006,000)	35,740,000 (1,140,000)
2. 事業運営安定化資金拠出金	1,000,000	0
3. 事業基金会計拠出金	4,954,000	2,358,000
4. 福祉共済部会計拠出金	5,622,000	5,328,000
5. 奨学金基金会計拠出金	0	0
6. 職員退職金積立会計拠出金	780,000	0
歳出合計	55,436,000	43,426,000

歳出の部 事業運営費内訳明細

自：令和 8 年 4 月 1 日
至：令和 9 年 3 月 31 日
(単位：円)

科 目	令和 7 年度 予算額	令和 8 年度 予算額	比較増減 (△は減)	増減率% (△は減)	構成率 %
款 項 目					
1. 事務費	13,628,000	10,077,000	△ 3,551,000	△ 26.06%	28.20%
1. 職員給与費	9,222,000	6,704,000	△ 2,518,000	△ 27.30%	
2. 諸手当費	1,416,000	364,000	△ 1,052,000	△ 74.29%	
3. 特別手当費	1,307,000	1,319,000	12,000	0.92%	
4. 税理士報酬費	467,000	467,000	0	0.00%	
5. 福利厚生費	585,000	585,000	0	0.00%	
6. 雑費	631,000	638,000	7,000	1.11%	
2. 需要費	6,569,000	6,469,000	△ 100,000	△ 1.52%	18.10%
1. 備品費	452,000	452,000	0	0.00%	
2. 消耗品費	500,000	500,000	0	0.00%	
3. 印刷費	1,366,000	1,366,000	0	0.00%	
4. 通信費	2,850,000	2,850,000	0	0.00%	
5. 交通費	1,401,000	1,301,000	△ 100,000	△ 7.14%	
3. 事業費	12,275,000	11,145,000	△ 1,130,000	△ 9.21%	31.18%
1. 学術費	6,365,000	5,775,000	△ 590,000	△ 9.27%	
2. 組織費	1,850,000	1,750,000	△ 100,000	△ 5.41%	
3. 広報費	1,900,000	1,800,000	△ 100,000	△ 5.26%	
4. 福祉厚生費	1,760,000	1,320,000	△ 440,000	△ 25.00%	
5. 情報処理費	400,000	500,000	100,000	25.00%	
4. 会議費	6,722,000	4,289,000	△ 2,433,000	△ 36.19%	12.00%
1. 総会費	10,000	5,000	△ 5,000	△ 50.00%	
2. 代議員会費	3,650,000	2,605,000	△ 1,045,000	△ 28.63%	
3. 支部長会費	20,000	25,000	5,000	25.00%	
4. 常務連絡会費	80,000	85,000	5,000	6.25%	
5. 理事会費	1,751,000	1,104,000	△ 647,000	△ 36.95%	
6. 監事会費	224,000	224,000	0	0.00%	
7. 各種委員会費	987,000	241,000	△ 746,000	△ 75.58%	
5. 渉外費	2,200,000	2,020,000	△ 180,000	△ 8.18%	5.65%
6. 社会貢献費	0	0	0		0.00%
7. 還付金	680,000	600,000	△ 80,000	△ 11.76%	1.68%
8. 予備費	1,006,000	1,140,000	134,000	13.32%	3.19%
事業運営費歳出合計	43,080,000	35,740,000	△ 7,340,000	△ 17.04%	100.00%

令和8年1月から6月までの会務報告

月	日	曜	行 事	出席者・講師
令和8年 1月	16	金	第6回情報処理部 Zoom 練習会 第9回学術委員会 (Web 会議)	
	17	土	第4回常務連絡会 (Web 会議) 令和7年度第1回奨学者審議部会 (在宅)	
	18	日	神奈川歯科大学同窓会学術講演会 -Back to the basic- 『Bio Esthetic - 審美修復治療の最前線 - 』	山口副会長 講師：大河雅之先生
	20	火	第42回全国歯科大学同窓会・校友会学術担当者連絡会 主管校による第4回準備会 (Zoom 会議)	山中常務理事、別部・前畑理事 学術委員会
	24	土	東京都支部新年懇談会 大分県支部学術講演会	大館会長 講師：荒井千春先生 (22 回生)
	31	土	九州地区連合会支部長・代議員会議	平良副会長・奥村監事
2月	7	土	神奈川歯科大学 BLUE FRONT SHIBAURA デンタルクリニック 開院記念祝賀会 神奈川県支部新年会	大館会長、相原・小野・桂・山口 金子副会長 植村・平田・川端・木本常務理事 大川原・別部理事、七沢監事 大館会長
	8	日	第42回全国歯科大学同窓会・校友会学術担当者連絡会 第2回準備会 (Zoom 会議) 主管校：鶴見大学歯学部同窓会、神奈川歯科大学同窓会	山中常務理事、別部・前畑理事 学術委員会
	16	月	第10回学術委員会 (Web 会議)	
	17	火	全国歯科大学同窓会・校友会学術 担当者連絡会関東支部協議会 (Web 会議)	山中常務理事、別部・前畑理事
	22	日	鶴見大学歯学部同窓会創立 50 周年記念式典・祝典	大館会長、山口・金子副会長
	28	土	第5回理事会 令和7年度第1回支部長会 令和7年度第1回福祉共済部運営委員会 第100回代議員会 / 令和7年度定例総会 代議員会懇親会・退職教授慰労会・就任教授祝賀会	
3月	7	土	青森県支部 総会・学術講演会	講師：槻木恵一教授 (24回生)
	8	日	私立歯科大学・歯学部同窓・校友会連絡協議会 会長・専務会	大館会長、山口副会長
	12	木	神奈川歯科大学卒業式 第57回生謝恩会	大館会長 大館会長、平田常務理事
	14	土	岩手県支部総会・学術講演会	大館会長 講師：大館 満先生 (7 回生)
	17	火	全国歯科大学同窓会・校友会学術 担当者連絡会関東支部協議会 (Web 会議)	山中常務理事、別部・前畑理事
	20	金	第7回情報処理部 Zoom 練習会	
	21	土	第5回常務連絡会 (Web 会議)	
	25	水	第11回学術委員会 (Web 会議) 第42回全国歯科大学同窓会・校友会学術担当者連絡会 主管校による第5回準備会 (Zoom 会議)	山中常務理事、別部・前畑理事 学術委員会
	28	土	山梨県支部学術講演会	講師：小澤 孝先生 (25 回生)
4月	11	土	令和8年度山形県支部総会 新潟県支部第43回総会・学術講演会	講師：佐藤 誠先生 (5 回生) 講師：小林 新二郎先生
	17	金	令和8年度第1回情報処理部 Zoom 練習会	
	18	土	令和8年度第1回常務連絡会 (Web 会議)	
	20	月	令和8年度第1回学術委員会 (Web 会議)	
	21	火	第42回全国歯科大学同窓会・校友会学術担当者連絡会 主管校による第6回準備会 (Zoom 会議)	山中常務理事、別部・前畑理事 学術委員会

5月	10	日	鹿谷 實先生（3回生）旭日双光章受賞記念祝賀会	大館会長
	16	土	令和8年度第1回監事会 令和8年度第1回理事会	
	17	日	学校法人神奈川歯科大学理事との懇談会	大館会長、相原・小野・山田・上岡 山口・金子副会長、植村・高橋常 務理事
	26	火	第2回学術委員会（Web会議） 第42回全国歯科大学同窓会・校友会学術担当者連絡会 主管校による第7回準備会（Zoom会議）	山中常務理事、別部・前畑理事 学術委員会
	31	日	千葉県支部総会及び山田良広先生記念講演	山田常務理事、講師：山田良広先 生（18回生）
6月	10	火	全国歯科大学同窓会・校友会学術 担当者連絡会関東支部協議会（Web会議）	山中常務理事、別部・前畑理事
	19	金	第2回情報処理部 Zoom 練習会 令和8年度第1回広報委員会（Web会議）	
	20	土	第2回常務連絡会（Web会議） 福島県支部総会・学術講演会	講師：西山明宏先生（39回生）
	22	月	第3回学術委員会（Web会議） 第42回全国歯科大学同窓会・校友会学術担当者連絡会 主管校による第8回準備会（Zoom会議）	山中常務理事、別部・前畑理事 学術委員会
	27	土	広島県支部総会・学術講演会 第16回神奈川県人会 神奈川歯科大学学会第61回学術大会・総会 懇親会	講師：前畑 香先生（31回生） 大館会長 山田常務理事
	28	日	神奈川歯科大学学会第61回学術大会・総会 埼玉県支部三笠会総会・学術講演会	山田常務理事 桂副会長 講師：村岡秀明先生（3回生）
	29	月	第2回広報委員会（Web会議）	

歯科医師と 従業員のための 国民年金に 上乘せする 公的な個人年金

掛金は全額
社会保険料控除

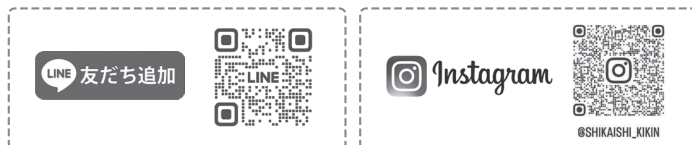
一生涯受け取れる
終身年金

自分にあった
自由な年金プラン



LINE と Instagram を始めました!

友だち登録とフォローで役に立つ情報をご覧いただけます



年金シミュレーション!

簡単な入力で試算いただけます



歯科医師国民年金基金

〒102-0076 東京都千代田区五番町12-11 泉館五番町ビル2F

0120-155-950

令和7年度 第1回表彰選考委員会報告

日 時：令和7年12月7日(日) 16:08～16:15

会 場：横浜研修センター6階教室

出席者：篠原委員長、栃内・長谷川・杉本・綱川・長堂・豊田・金子(宣)委員

オブザーバー：大館会長、山口・金子(守)副会長・高橋・山田常務理事

大川原理事、細谷監事

1. 開会 委員 栃内 明啓

2. 報告

第34回表彰推薦者（令和6年度 第99回代議員会にて表彰）

有功章 4回生 相原 元一（静岡県支部）

有功章 3回生 中川 賢治（新潟県支部）

3. 審議

第35回表彰推薦者（表彰選考委員会審議後、理事会・代議員会の在宅審議を経て第100回代議員会にて表彰）
（届出日付順）

有功章 5回生 土田 孝男（宮崎県支部）

有功章 4回生 中村 順三（北海道支部）

有功章 7回生 杉本 康樹（石川県支部）

有功章 9回生 直江 祥明（福井県支部）

有功章 6回生 浅井 謙次（愛媛県支部）

表 彰 4回生 大鳥居 敬（新潟県支部）

推薦書をもとに有功章での推薦のあった上記5名と表彰1名について、協議の結果、表彰規則第3条2項により全会一致で承認された。

4. その他

綱川委員：【意見】推薦書に歯科医師会の情報がいろいろ書かれている先生がおられるが同窓会関係の略歴をもう少し詳しく書いていただきたい。

栃内：今後、そういう形をできるだけとっていただきたい。

5. 閉会 委員 栃内 明啓

（在宅議事令和7年度第1号）第35回表彰者につきまして

（令和7年12月19日～令和8年1月8日）

表彰規則第4条に基づき、令和7年12月19日より令和8年1月8日までの期間で、代議員各位に在宅議事として審議を諮り、以下の通りの承認をいただきました。

有功章での推薦のあった上記5名と表彰1名について、1/2以上の賛成をいただきましたので、第35回表彰者につきましては、承認といたします。

有功章（5名）	承認する	異議あり	未回答
土田 孝男（宮崎県支部）5回生	61名／74名中	0名／74名中	13名／74名中
中村 順三（北海道支部）4回生	62名／74名中	0名／74名中	12名／74名中
杉本 康樹（石川県支部）7回生	62名／74名中	0名／74名中	12名／74名中
直江 祥明（福井県支部）9回生	62名／74名中	0名／74名中	12名／74名中
浅井 謙次（愛媛県支部）6回生	62名／74名中	0名／74名中	12名／74名中

表 彰（1名）	承認する	異議あり	未回答
大鳥居 敬（新潟県支部）4回生	62名／74名中	0名／74名中	12名／74名中

令和7年度 第1回奨学者審議部会報告（在宅審議）

令和7年度の奨学者選定につきまして、令和7年度第1回奨学者審議部会を、在宅審議の方法で開催いたしました。審議期間、回答方法は以下の通りです。

審議期間：令和7年12月15日資料発送 到着から令和8年1月17日の期間

回答方法：資料を送付し在宅審議回答書にて返信

1. 報告

令和5年度第1回奨学者審議部会報告

令和6年度申請なし

2. 議事

奨学金申込 甲種1件（会費納入状況は完納）

歯学研究奨学金（甲種）

- (1) 片山裕太（48回生・大学支部・甲種会員）会員期間 2017年入会
神奈川歯科大学歯学部臨床科学系
歯科診療支援学講座 クリニカル・バイオマテリアル学分野 助教
研究課題：CAD/CAM用PEEKブロックに関する特性

在宅審議結果

令和7年12月15日資料発送 到着から令和8年1月17日の期間、在宅にて審議を行い、在宅審議回答書を以って採決とした。

結果、部員7名全員より承認の回答があり、令和7年度の奨学金申請1件は承認された。

（意見）

受給者の義務である「論文（研究結果）」の未提出者が散見される。大きな課題である。

との意見があがった。

以上

明日の口腔医療に貢献する歯科用機器・サプライ・書籍の総合商社

今日もTRADスピリットで。

大正12年の創業以来、田中歯科器械店は、
伝統を守りながらも常に環境の変化に対応し、
革新し続けることで発展してまいりました。
そのスピリットを表現するシンボルがTRAD。

Traditionを意味するだけでなく、
Tanaka Realize Advanced Dental という強い意志を表しています。
田中歯科器械店はこれからもTRADスピリットで、
国民の口腔医療に貢献してまいります。



株式会社 田中歯科器械店

■ 本 社

〒102-8139 東京都千代田区富士見1-3-8
Tel 03-3230-2386(代) Fax 0120-418-550

■ 神奈川支店

〒238-0004 神奈川県横須賀市小川町26-3
Tel 046-826-1640(代) Fax 0120-182-999

■ 新潟支店

〒951-8151 新潟県新潟市中央区浜浦町1-41
Tel 025-267-1080(代) Fax 0120-438-020

■ 日本歯科大学営業部附属病院売店

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-3-16
日本歯科大学附属病院内
Tel 03-3263-9525(代) Fax 03-3263-9553

■ 日本歯科大学営業部生命歯学部売店

〒102-0071 東京都千代田区富士見1-9-20
日本歯科大学生命歯学部内
Tel 03-3265-8977(代) Fax 03-3265-0570

■ 日本歯科大学新潟生命歯学部売店

〒951-8580 新潟県新潟市中央区浜浦町1-8
日本歯科大学新潟生命歯学部内
Tel 025-265-0850(代) Fax 025-265-0859

■ 神奈川歯科大学営業所

〒238-0003 神奈川県横須賀市稲岡町82
神奈川歯科大学歯学部内
Tel 046-826-1441(代) Fax 046-826-1465

<http://www.tanakadental.co.jp>

大河雅之先生講演会報告記

澁澤真美（学術委員・31 回生）

2026年1月18日（日）、神奈川歯科大学附属横浜研修センターにて、日本歯科大学生命歯学部補綴科Ⅱ講師・日本臨床歯科学会理事・理事長幹事 大河雅之先生をお招きし、『Bio Esthetic – 審美修復治療の最前線』と題して学術講演会がハイブリッド形式で開催された。

講演では、午前は、ラミネートベニアの歴史、エビデンスに基づくラミネートベニアに関する材料学、歯の解剖学などの解説、またDXを用いた顎運動を可視化できるシステムの紹介もされ、咬合の重要性も説かれた。

午後は、素晴らしい臨床症例の豊富なご紹介と共にラミネートベニアの形成、注意点などを解説いただき

接着の観点から、被着体にはエナメル質の保存が重要であることから、臼歯部のラミネートベニアもご紹介くださった。

質疑応答では、複数歯の接着手順やセメントの種類などのご回答などをいただいた。

大河先生は歯周外科処置も得意とされており、歯周状態がコントロールされた上での全顎的な治療をなさっている。さらに、ラミネートベニアの世界の開拓者として、まだその先の審美を追及され、日々研鑽されている。

本講演会は、日々の診療に活かせる多くの学びを提供する有意義な機会となった。





よ坊さん

「岩手県支部」令和7年度総会報告

高橋晃彦（17回生・岩手県支部）

2026年3月14日（土）午後5時より、上記の会が盛岡市のホテルロイヤル盛岡にて開催されました。岩手県支部は、コロナ禍前まではあわせて年3回の総会と例会を開いて、その都度大学本部、岩手医大歯学部、岩手県歯科医師会の先生方にご講演をお願いし、研鑽に努めてきました。

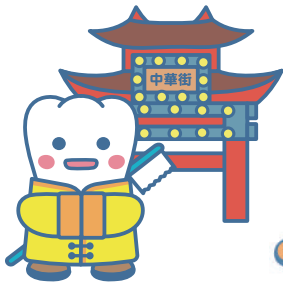
日本各地が自然の大災害に見舞われる昨今で心配が絶えませんが、15年前となる東日本大震災の折りには、我々も母校並びに同窓の皆様の温かいご支援を賜り、深く感謝申し上げます。大災害を乗り越えた当支部ではありますが、徐々に会員の高齢化が進む中、後輩たちの入会を待ち続けながら、現在は年1回の総会のみの開催となっております。

当日は会議も滞りなく進行し、引き続き遠路遥々お越しいただいた本部大館 満会長より「時局講演」と

題して、前年開催された同窓会50周年記念式典の模様など、丁寧に説明していただきました。また持参された資料に基づいた同窓会運営の今後についてもお聞きしました。いびつな年齢構成などが日本全体の大きな問題となるなかでも、同窓会としても全国各支部からのご意見に基づき的確な分析がなされており、出席会員一同安堵致しました。歯科界や母校（同窓会）についても、現状分析と将来像のしっかりとしたビジョンを示されて、引き続いての懇親会でも、我々の質問に丁寧にお答えいただきました。

先頃のWBCでは日本は残念な結果に終わりましたが、今後も大谷翔平、菊池雄星、佐々木 朗希と、世界に羽ばたく県出身選手を応援していく岩手県支部会員一同であります。





よ坊さん

神奈川県同窓会 地区連絡協議会 開催 ～母校の発展と同窓会運営の近代化・健全化を目指して～

金子宣由 (19 回生・神奈川県支部)

令和8年度神奈川歯科大学 神奈川県同窓会 地区連絡協議会が2026年4月11日（土）18時30分より横浜クリニック・研修センターにて行われた。地区連絡協議会では、母校の現況報告とともに、同窓会運営の透明化やデジタル化について協議が行われました。

1. 大学の現況と地域連携(金子会長挨拶)

今年度の入学者数は定員を大きく上回る135名となり、第119回歯科医師国家試験の合格率も約81%（私立歯科大学上位5位以内）と躍進しています。県内11校を含む19校との高大一貫教育の提携が進んでおり、入学生の約半数が県内出身であることから、県同窓会の役割がさらに重要になっています。

2. 各地区の現状と課題

多くの地区で会員の高齢化や閉院に伴う退会が相次いでいます。30回生以降の若手層の未入会が目立ち、「入会のメリットが分からない」という声に対する意義の周知が課題となっています。対策として、若手の役員登用、LINEによる連絡の迅速化、学術講演会などの魅力的な企画づくりを行う地区の好例が共有されました。

3. 同窓会運営の健全化と次世代対応(協議事項)

運営の透明性と効率化を目指し、以下の3点が協議されました。地区活動助成金交付規定の新設：助成金の交付基準を「名簿上の会員数」から「会費納入者数」に変更し、公平性を高めます。また、活動報告書の提出を必須とし、トラブル防止のため組織名義の口座使用を強く推奨します。公式LINEの整備とDX：通信費（1回約7,000円）がかかるFAX配信から移行し、情報伝達のスピードアップと経費削減を図るため、公式LINEを導入します。出欠確認も容易になるため、4月以降に積極的な登録を推進します。歯科衛生士就職ガイダンスへの参画：短期大学部の就職ガイダンスにおいて、県同窓会会員の歯科医院に2万円（税込）の大幅な優遇参加枠を設け、地元就職を推進します。

まとめ

同窓会運営における「規約の整備」と「IT」という二つの方向性が示されました。これらを武器に若手会員との接点を増やし、母校の発展と会員の利益向上を目指します。



挨拶をする金子守男会長



～ 山梨県支部旅行 ～

米山好昭 (29 回生・山梨県支部福祉厚生部担当)



2025年11月15日(土)、16日(日)の二日間にわたり、神奈川歯科大学同窓会山梨県支部旅行「～思い出と美食の旅～」を開催いたしました。今回の旅行には、会員の先生方ならびに関係者あわせて13名が参加し、横浜・横須賀・鎌倉を巡る充実した時間を過ごしました。

初日は午後、山梨県歯科医師会館を出発。車内では軽食や飲み物を囲みながら、学生時代の思い出話や近況報告に花が咲き、終始和やかな雰囲気に包まれていました。横浜到着後はホテルにチェックインした後、夕刻よりウェスティンホテル横浜最上階のレストラン「アイアンベイ」にて懇親会を行いました。

横浜港の夜景を眺めながら、薪焼き料理とワインを楽しみ、学生時代の懐かしい話題から現在の診療の話まで、会話は尽きることなく大いに盛り上がりました。その後は各自自由行動となり、横浜の夜景や街並みを楽しみながら、それぞれ思い出の時間を過ごしました。

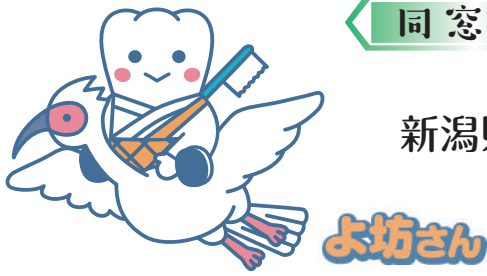
二日目は横須賀へ移動し、ドブ板通りを散策した後、横須賀中央駅から大滝町商店街を抜け、かつて通学した懐かしい道を歩きながら神奈川歯科大学へ向かいました。商店街では、「ここにあの店があったんだよね」「学校帰りによく寄ったなあ」といった会話が自然と飛び交い、当時の思い出が鮮やかによみがえりました。

大学では敷地内を散策しながら、変化した建物や街並みに時代の流れを感じつつ、学生時代の思い出を語り合いました。校舎内へは入れませんでしたが、仲間と共に母校を訪れることで、「あの頃の横須賀」の空気を十分に感じることができました。また、三笠公園や横須賀ポートマーケットも散策し、昔の横須賀と今の横須賀の両方を味わうことができました。

昼食は鎌倉にて美味しい料理を楽しみ、昼食後は小町通り周辺を散策。その後、湘南の海岸線を眺めながら山梨への帰路につきました。

今回の旅行は、単なる親睦旅行にとどまらず、学生時代を共に過ごした仲間との絆を再確認し、日々の診療への活力を得る貴重な機会となりました。横浜の夜景、横須賀の思い出、鎌倉の風情、そして仲間との語り合い——心に残る素晴らしい二日間となりました。





新潟県支部稲岡会総会、講演会報告

屋形秀樹（5回生・新潟県支部支部長）

2026年4月11日、新潟市のホテルイタリア軒において、第43回新潟県支部、稲岡会総会、講演会を行いました。

総会では、長年（30年以上）支部長を務めていただいた中川賢治先生（3回生）から、副支部長の屋形秀樹（5回生）が、支部長として承認していただきました。

中川先生には、昨年2月の同窓会本部の総会の際に、長年の功績に対し有功章として表彰していただきました。大鳥居 敬先生（4回生）もこの度、表彰していただきました。長い間大変有難うございました。

今回、支部長を交代した意図は、若い先生方に、順次、執行部に関わっていただきたいということで、認めていただきました。

副支部長は、高橋堅護先生（13回生）【広報担当理事と兼任】

事務理事は、滝澤賢一先生（23回生）【社保担当理事と兼任】

会計担当常務理事は、岡部清幸先生（20回生）【留任】

学術担当理事は、横山 茂先生（19回生）

監事は、斉藤 憲先生（6回生）【留任】

顧問は中川賢治先生（前支部長）（3回生）、大鳥居 敬先生（4回生）、入江 修先生（前専務理事）（9回生）をお願いいたしました。

講演会は、昨年より、クマの市街地への出没の報道が毎日のようにされており、地元の猟友会等のハンターによる駆除が伝えられておりました。



小林新二郎先生【猟友会にて】

新潟市開業の小林新二郎先生（日本歯科大学新潟歯学部出身）が、猟友会のハンターで出没するクマの駆除にあたっておられたので、それにまつわるお話をさせていただきました。

新潟県の緊急銃猟数は、全国一位なのだそうです。

クマも死んだふりをするそうでそれを見分けるには、倒れたクマの「手のひら」が下を向いていると、近づくと襲いかかってくる可能性があり、危険だそうです。逆に「手のひら」が上を向いていれば、大抵、安全なのだそうです。

クマの生態系や、駆除の動向など、またご自身が、歯科麻酔学教室におられた経験があり、歯科診療所における医療安全についてのお話も加えて講演していただきました。





令和7年度忘年会

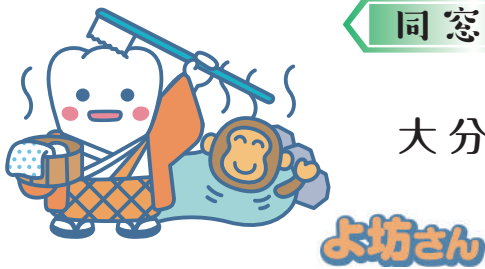
山口 真一郎（32回生・広島県支部専務理事）

2025年11月29日（土）午後7時から、ANAクラウンプラザホテル広島22階「スターダスト」に20名の会員が集い、神奈川歯科大学同窓会広島県支部・稲岡会の忘年会が開催された。専務理事の小生が司会を務め、西谷 満会長（21回生）の開会挨拶により始められた。大石正臣氏（3回生）の挨拶に続き、令和7年春の叙勲にて瑞宝双光章を受章された山口隆志氏（5回生）から挨拶をいただいた。山口氏には叙勲に纏わる話も披露していただいた。特に、受章当日の皇居の様子は普段見聞きする機会もなかなか無いため、参加

者みなが大変興味深く耳を傾けていた。その後、道佛雄次氏（4回生）の乾杯の発声により開宴した。

今回の忘年会は学術講演会の併催もなく、純粹に会員親睦のためだけに集まったということもあり、会の序盤からリラックスした和やかな雰囲気ですべては催され、皆が楽しいひとときを過ごした。そして会の後半では、河上 大理事（32回生）のタクトで恒例の参加者全員での校歌斉唱。午後8時50分、歌野原 之副会長（6回生）による閉会の挨拶をもって盛会のうちに終了した。





大分県支部学術講演会

陶山直昭（21 回生・大分県支部）

2026年1月24日（土）午後4時より大分市「都町アートホテル」において、大分支部の学術講演会を開催しました。今回講師を務めたのは、「社会福祉法人 別府発達医療センター」歯科診療部長の荒井千春先生（22回生）で「私の考える障害者歯科医療～臨床の中から見えてきたもの～」という演題で講演していただきました。

荒井先生は2005年から現在に至るまで、ほぼ孤軍奮闘で県内の障害者歯科に長年携わってきたと言っても過言ではないと思われますが、今回は先生が日々の診療で取り組まれている行動変容法（行動変容技法）や薬理的アプローチによる行動調整法（鎮静法、全身麻酔）を中心に話していただきました。

私の診療所にも数名の障がい児者が来院していますが、対応に苦慮すること多々あり、同様の経験をされた先生方も多いのではないかと思います。荒井先生の講演では、障がい者（主に知的障がい者）の特性や注意点を説明した上で、動画を駆使して行動変容法の手法を分かりやすく解説していただきました。

特に留意すべきポイントとして、患者に「終わりの見通しを立たせる重要性」（カウント法）や「出来たら褒める」（陽性強化）、「どんな場合でも達成感を与えて終了する」ことを挙げていましたが、これらの留意点は小児歯科においても共通項があるため参考になった受講者も多かったと思います。



講演をする荒井千春先生

我々が住む大分県には三次医療機関である歯科大学や大学歯学部がなく、知的障がい者の歯科医療体制の充足に関しては、長く立ち遅れていました。ようやく2018年に大分県歯科医師会館内に「大分県口腔保健センター」という二次医療機関が設立されましたがまだまだ対応出来ていないのが現状です。

我々のような一次医療機関が自院で出来る範囲で「かかりつけ歯科医」として地域の障がい者を受け入れ、高次医療機関とのネットワークを築いていくこと…荒井先生が今後を見据えた歯科ビジョンとして提言した課題について、我々も協力医として真剣に取り組んでいく必要性を痛感した次第です。



ChatGPT 臨床応用していますか？

北川 純（16 回生・埼玉支部）

いわゆる Z 世代と言われている若者は生まれてきた時から既にデジタル媒体が存在して躊躇なく溶け込むことができるデジタルネイティブとも呼ばれている世代です。それに対して昭和生まれの我々は Windows95 が世に出たことにより衝撃的かつ必然的にデジタル文明の洗礼を受けたわけで、苦勞してその習得に励んだものでした。今や年齢を理由に AI や ChatGPT、Gemini といったデジタル媒体に無関心であってはガラパゴス状態といえると思います。ChatGPT は何ら面倒な操作なく利用できるソフトでその価値は臨床にも生かされます。

臨床的には例えば処方薬の飲み合わせの可否、画像提供して皮膚炎が薬物アレルギーによるものか金属アレルギーの可能性はとか、外科治療中に血圧が 200 を超えてしまった場合で既往歴から施術を中止した方が良いとか、歯列矯正やホワイトニング等の術前の画像から AI に予想される術後の画像を患者の写メをもとに作成してもらうなど有益なことがかなりあります。3D 画像として得たいならフェイススキャナーと IOS と CT データを一元化して得られる情報により、それは素晴らしい画像が得られます。しかしそれにはフェイススキャナーだけでも数百万円規模の投資が必要となります。この先本格的に導入を検討されている先生ならその投資も良いかもしれませんが、そこまではどうかと思っている先生であるならまずは無料ソフトのレベルで試してみることをお勧めします。私の様に 10 年先はリタイアしている可能性が高い者にとっては無料ソフトのレベルで当面は用が足せると思います。さらに外国人患者に例えば菌髄炎を起こしている

ので抜髄が必要ということについての説明と処置手順について外国語で説明をしてもらうことも可能です。口腔粘膜疾患についても組織検査をやるわけでないので確定診断はできませんがスクリーニングは画像を提供するだけでできますし、急を要する疾患なのか判断もしてくれます。疾患について臨床症状からアドバイスを得られるのも大きなメリットです。例えば顎関節症について知りたいことがある場合、その分野に長けている人に聞くとバイアスが影響する場合があります。自分の得意分野の範疇に原因をあてはめようとしがちになるからです。内科的疾患についても同様ですが、ネット上の莫大な情報から結果を導き出すので、例外も含めて判断してくれます。これらのことがアプリを入れるだけで無料（使い方によっては一部有料）なので利用しない手はありません。術前のコンサルテーションに利用する価値がもっとも大きく、当院では自費率のアップに反映されている感じがします。その場合にはスマホよりも撮影可能な iPad のような媒体を用いた方が大きくて見易いです。

臨床以外にも英会話の勉強をしたい（レベルも選べる）とか、出張するのに観光も兼ねたいとか入力すると瞬時に案を提供してくれます。個人的情報や著作権が関係する内容には対応できません。その他の応用としてはエクセル表・関数作成やプログラミング・コード作成とか議事録やセールスコピーの作成などちょっとした秘書の役割を果たしてくれます。検索や遊びで使うだけではもったいない限りです。もう既に臨床導入されている先生もいると思いますがまだ利用していないならやってみると面白いですよ。



こんなお遊びもできます。
自分の画像を使って「10 歳若くしたイケオヤジ風にアレンジして」と注文してできた筆者の画像です。

ChatGPT



この口腔内画像の前歯を閉じて金属を使わないで被せ直しをして理想的な状態にしてください。色調は下顎4前歯に合わせてこの4前歯はこのままでいいです。

画像が作成されました



ChatGPT



この人の歯並びを理想的な歯並びにしておっただけ明るく(白く)してください

画像が作成されました



ChatGPT



口唇を含めた画像ですが同じ様にしてください

画像が作成されました



ChatGPT



60代男性
画像の様な下唇に若干の痒みを伴う発疹が生じています。1週前にヘルペス性口唇炎のため抗ウイルス薬パルトレックスを3日間服用しましたが薬疹の可能性はあるのでしょうか？違うなら何が原因でしょうか？

※実際の診断はできませんので、一般的な医学的情報としてお読みください。

結論から

※パルトレックス(パラシクロビル)による薬疹の可能性は「低め～中等度」※で、画像と経過からは別の原因の方がやや考えやすい印象です。

薬疹の可能性について ↓

ChatGPT

歯科受診の外国人の患者に「歯髄炎を起こしているので抜髄(歯の神経を除去)する必要がある。局所麻酔を使う」と英語と韓国語で説明したいです。

英語 (English)

You have pulpitis, which means the nerve inside your tooth is inflamed. Because of this, we need to remove the dental nerve to stop the pain and infection.

This procedure is called pulpectomy / root canal treatment.

We will use local anesthesia, so the area will be numb and you should not feel pain during the treatment.

※さらに丁寧にする場合:

韓国語 (한국어)

치아 안의 신경에 염증이 생긴 상태입니다. (치수염) 이 때문에 치아 신경을 제거하는 치료가 필요합니다.

이 치료는 **신경 제거 치료(근관 치료)**라고 합니다.

국소 마취를 사용하기 때문에 치료 중에는 통증을 거의 느끼지 않습니다.

ChatGPT



70代男性、非喫煙者の口腔内。
4ヶ月前には無かったが境界不明瞭で若干の出血と接触痛のある増殖性の腫瘍が生じた。歯肉がんの可能性と急を要する病変が知りたい。

※実際の診断はできませんが、口腔外科・歯科腫瘍の観点からの臨床的評価としてお答えします。

結論 (重要)

歯肉癌(特に扁平上皮癌)を強く疑う所見があり、「急を要する病変」に該当します。
速やか(数日以内～遅くとも1週間以内)に口腔外科で精査・生検が必要です。

本症例で危険度が高い理由

ご提示の条件と画像所見(↓)以下の**赤旗所見(red flags)**が複数そろっています。

[患者様のご了解を得て掲載しています]

“見えない不快感を無くす”
刺激・熱さ・臭いを抑えた新しい常温重合レジン

PROVINCE MILD

その刺激、患者さまは我慢しています

いいえ 40.1% はい 59.9%

実は5人に3人が
常温重合レジンの刺激を不快に感じています

刺激を不快に感じましたか?に対する回答: 松風調べ

プロビナイス Mild

- 粉[種類]2種:ファストタイプ/ノーマルタイプ 35g...¥2,900、250g...¥11,000
- 液(ファストタイプ/ノーマルタイプ共用) 50mL...¥2,900、250mL...¥7,000
- 色調粉(全6色)

価格は2026年6月現在の標準医院価格(消費税抜き)です。

販売名	一般的名称	承認 登録 届出番号
プロビナイス Mild	歯科汎用アクリル系レジン	管理医療機器 医療機器認証番号 307AKBZX00043000

製品の詳細はこちらまで

SHOFU 噛む、笑う、生きる、を支える。

株式会社 松風

本社/〒605-0983 京都市東山区福福上高松町11 [お客様サポート窓口] TEL:075-778-5482 受付時間8:30~12:00 12:45~17:00(土日祝除く)
支社・営業所/東京 TEL:03-3832-4366 営業所/札幌 TEL:011-232-1114 仙台 TEL:022-713-9301 名古屋 TEL:052-709-7688 京都 TEL:075-757-6968 大阪 TEL:06-6330-4182 福岡 TEL:092-472-7595 www.shofu.co.jp

16回生 卒後40周年同窓会報告

北川 純 (16回生)

2025年11月23日（日）夕刻より横浜ベイシェラトンホテルにて神奈川県歯科大学16回生の卒後40周年同窓会が開催されました。北は北海道から南は鹿児島県、奄美大島に至るまで65人の同窓が集い、旧友と懐古しながら旧交を温めました。横浜での同窓会に先立ち、希望者には横須賀の母校や資料館、附属病院等の見学会も実施されました。同期の伊藤由美先生が寄贈された「世界の歯科医人形」も見学できました。神奈川県歯科大学の鹿島理事長も案内に協力していただきました。

横浜での同窓会ではまずは記念撮影を行い、物故者に対する黙とうを行い、窪田光慶教授（教育企画部・2026年3月退任）による母校の近況報告が行われ、不参加者の近況報告も行われました。卒後40年ぶりに再会する人々もいまして殆ど変わらない人もいれば、その変わり果てた姿に誰だか名札を見ないとわからない

い仲間もいました。和やかな雰囲気での歓談、学生時代の実習の苦い思い出やクラブ活動の話題に花が咲き、また、学生時代は全く飲酒しなかった人が貫禄のある飲みっぷりを見せていたりするなど2時間余りの楽しい時間はあっという間に過ぎて行きました。その後、2次会ではホテル内や個人的に分散してそれぞれ行われました。

同窓会は今まで10年に1度くらいのタイミングで開催されていましたが、この先、間隔が長いと物故者も増えるのでもう少し間隔を短くして開催してはという意見もありました。今回の企画、運営に携わっていただいた幹事の先生方には忙しい中、完璧に手配していただき心より感謝しておりますので、また次回も宜しくお願い致します。



令和8年 春の叙勲 表章



小高昇平 先生 旭日双光章受章

(5回生 千葉県支部)

令和8年4月29日 受章

これも偏に、皆様の永年に亘る心温かい、ご指導、ご支援の賜物と感謝申し上げます。

令和7年 秋の叙勲 表章



一瀬秀文 先生 旭日双光章受章

(9回生 山梨県支部)

令和7年11月29日 受章

山梨県歯科医師会において副会長、専務理事を通算5期務めさせていただきました。
その間「山梨県歯の健康と医療費に関する実態調査」や「医科歯科連携」など、主に県民の「歯科保健」にかかわる職務を担当しておりました。今回の叙勲はひとえに同窓の方々、県歯会員の方々また行政のご厚情の賜物と存じます。心より感謝申し上げます。

令和7年度 表彰



七沢久子 先生 文部科学大臣表彰受賞

(9回生 山梨県支部)

令和7年7月4日 受賞

専修学校制度発足50周年記念式典におきまして、教育功労者表彰として文部科学大臣表彰の栄に浴し、身に余る光栄に存じます。

これもひとえに、日頃より格別のご指導とご高配を賜っております学校関係者の皆様のお力添えによるものと、衷心より深く感謝を申し上げます次第でございます。

今後とも教育の振興と発展のため、微力を尽くしてまいり所存でございます。末筆ながら皆様のますますのご健勝とご隆昌を心よりお祈り申し上げます。

《 褒章・叙勲・表彰について 》

国(内閣府)・都道府県から褒章・叙勲を受章されたほかに、医療に携わり社会的に貢献した事を認められて(大臣表彰・都道府県・日本歯科医師会)から表彰を受彰された先生方を会報(HP)でご紹介させていただきます。

会報掲載をご希望の先生は、所属支部の支部長を通じて、支部名・回生・お名前・受章(表彰)名・受章(表彰)日・写真1枚と簡単なコメント(50字程度)を添えて事務局にお届出ください。

被災された同窓生への災害支援に関する経過報告（令和7年12月～令和8年6月末現在）

第63回代議員会(平成14年7月13日)において福祉共済の災害等への見舞金が廃止となりました。その後は、災害により被災された会員の先生がいらした場合には支援金を募集し対応しておりました。災害見舞金は早急な対応が要求されることから、平成29年度に災害見舞金制度を立ち上げて、見舞金の対象となる災害の基準を定め、理事会承認で見舞金の対応をしております。

災害発生日	災害見舞金支払日	支払内容
令和7年12月8日 発生 青森県東方沖を震源とする地震	2025年12月22日	青森県支部の1名の会員に支援金10,000円をお支払い。 (内訳) ・カルテ等書類の散乱、機器の移動など

令和7年度災害見舞金予算額1,000,000円に対し、60,000円を被災された会員にお支払いしております。

(令和8年3月末日現在)

貴支部総会等の際に、支部会員の先生方から過去における被災状況の報告をお受けしたなどの話題がございましたら本部同窓会事務局までお知らせくださいますよう、宜しく願い申し上げます。



ー 保険はどこも同じではありません。明日への安心、ご相談ください。ー

取扱保険会社	
東京海上日動火災保険(株) 損害保険ジャパン(株) 三井住友海上火災保険(株) セコム損害保険(株) チャブ損害保険(株) AIG 損害保険(株) キャピタル損害保険(株)	ソニー生命保険(株) SOMPO ひまわり生命保険(株) 三井住友海上あいおい生命保険(株) 東京海上日動あんしん生命保険(株) アフラック生命保険(株) メットライフ生命保険(株)

歯科医師賠償責任保険
自動車保険
火災保険



所得補償保険
生命保険
ゴルフ保険

GIAへお任せください。先生方の団体扱いの保険をご用意しております。
自動車保険、火災保険、所得補償保険、傷害保険、生命保険、医療保険、医師賠償責任保険、旅行保険等、取扱いしております。

〒190-0022
東京都立川市錦町 2-1-1 タウンコート立川 403 号
TEL042-524-3203 (代表) FAX042-527-9776

株式会社 GIA

〒151-0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-26-6 代々木シティ・ホームズ 101 号
TEL03-3352-9351 (代表) FAX03-3352-9551

会報誌デジタル版移行のお知らせ

次号から会報誌の会員発送を取りやめ、神奈川歯科大学同窓会HPに掲載します。
<https://inaoka82.com>→「広報」からダウンロードのうえご覧ください。

氏 名		
相田 和輝	小泉 汰美	中沢 増美
有近 大地	高納 秀成	長瀬 真希
李 承澤	小林 壮一郎	中部 夏海
李 承潤	小林 夏香	西村 和菜子
李 沼定	小林 祐翔	任 利那
李 垚奎	小山 晃	根間 利麻奈
李 賢顔	蔡 博丞	野村 寛也
碓 智佳絵	齊藤 碧衣	朴 叡瑞
生田 将士	齊藤 翼	花籠 一郎
石原 なつ美	酒井 杏奈	馬場 裕介
石山 瑞貴	榮 風人	早川 蒼
磯部 可綸	榮 奏人	潘 柏愷
磯部 真司郎	榮 拓人	馬場 翔治
入門 蒼	坂本 力哉	平出 瑞樹
榎本 一輝	櫻井 健人	平田 桃子
遠藤 大路	佐瀬 優音	福島 央昌
王 依宸	佐藤 羽菜	福田 優佳
王 一帆	佐藤 璃呼	福田 良奈
王 焯麟	猿渡 剛規	福富 彩加
王 今上	張 ヨセフ	藤島 凜佳
王 経碩	蕭 亦廷	星野 颯太
大島 遼	鄭 智宇	巻口 梨紗
太田 光咲	申 志優	益江 裕利佳
大西 理莉	杉村 彩羽	増田 由亜
岡田 慎ノ介	杉山 璃奏	万田 昊来
小川名 久真仁	須田 琥太郎	南川 寛太
小坂 昂暉	関 優太	宮地 亜弥
小野澤 佳奈	成 知原	村上 虹七
嚴 允珠	竹井 健人	元原 仁音
尾本 昌大	田辺 理乃	森岡 のの
笠井 勘汰朗	谷口 すず子	山口 豪
金井 彩緒里	反町 ゆりあ	山崎 菖子
金濱 美羽	崔 宰源	山本 結基
軽部 雄太	崔 昇振	弓場 堅
川上 叶乃彩	長 榎恋	楊 俊傑
瓦田 裕紀	鄭 湘薫	楊 根
姜 潤	鄭 茂成	吉田 結衣
北原 世夏	陳 偉	吉永 夏風
北村 健伸	陳 家平	吉村 恭太郎
金 兌憲	陳 瑞寛	羅 幼懿

氏 名		
金 延洙	手柴 鈴袈	頼 悠
金 映瑞	富沢 芽生	黎 宜凌
栗原 あねら	長岡 瞭太	渡邊 大希
高 紘準		

再入会者

森岡奈保子	(37回生・甲)	福島県支部
磯部 司	(19回生・甲)	東京都支部
望月 隆司	(19回生・甲)	神奈川県支部
廣瀬 義政	(26回生・甲)	神奈川県支部
小壺 牧子	(37回生・甲)	神奈川県支部

訃 報

『正会員』

村山 芳良	(神奈川県支部 13 回生)	2025.01.02	ご逝去
山本 文正	(鳥取県支部 6 回生)	2026.01.07	ご逝去
川戸二三江	(東京都支部 16 回生)	2026.03.11	ご逝去
松下 求	(静岡県支部 6 回生)	2026.03.12	ご逝去
小林 宥元	(東京都支部 9 回生)	2026.04.10	ご逝去
網野 省三	(大阪府支部 4 回生)	2026.04.14	ご逝去
森本 克廣	(広島県支部 2 回生)	2026.05.08	ご逝去
折居 國昭	(山形県支部 4 回生)	2026.05.17	ご逝去
薄 孝	(大阪府支部 7 回生)	2026.05.24	ご逝去

正 誤 表

2026年1月15日に発行いたしました会報143号において発行年の誤りがございました。
謹んでお詫び申し上げますとともに、下記のとおり訂正させていただきます。

【訂正箇所】会報143号 29ページ

(誤) 2027年1月15日

(正) 2026年1月15日

《編集後記》

会報第144号では、第100回代議員会報告をはじめ、学術講演会報告、各支部総会報告、学術講演、旅行記などを掲載いたしました。代議員会報告では、神奈川県歯科大学同窓会が今後も発展し、より良い組織として継続していくための議論が行われています。文字数の多い内容ではありますが、ぜひご一読いただければ幸いです。広報委員会では、今後も同窓生の皆様のご活躍や各支部の活動を発信してまいります。同窓生の皆様におかれましては、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。なお、会報誌は同窓会ホームページからもダウンロードできますので、ぜひご利用ください。

編集委員：加来 めぐみ (9回生) 金子宣由 (19回生) 濱野奈穂 (30回生) 市田佳子 (33回生) 角井早紀 (49回生) /
広報担当常務理事：川端啓義 (12回生) / 広報担当理事：新井宗高 (28回生) / アドバイザー：高橋 朗 (12回生)

神奈川県歯科大学同窓会会報 144号

発 行：神奈川県歯科大学同窓会

〒238-8580 横須賀市稲岡町82

TEL：046-825-0524 FAX：046-822-3538

URL: <https://inaoka82.com> E-mail: ob-jimu@kdu.ac.jp



発行人：大館 満

発行日：2026年7月18日

印 刷：一世印刷株式会社

〒161-8558 東京都新宿区下落合2-6-22

TEL：03-3952-5651

回生
(会員番号)ふりがな
氏名

支部

旧姓

<< 勤務先情報 >>

◆ 届出の登録情報に変更 【あり・なし】

◆ 冊子名簿への掲載について(希望する方に○をつけてください)

勤務先名 【掲載・非掲載】

【掲載・非掲載】

【掲載・非掲載】

【掲載・非掲載】

【掲載・非掲載】

勤務先所在地 【掲載・非掲載】 〒

電話番号 【掲載・非掲載】

FAX番号 【掲載・非掲載】

携帯番号 【掲載・非掲載】

E-Mail 【掲載・非掲載】

※ アドレスを事務局宛にメール送信してください

<< 現住所情報 >>

◆ 届出の登録情報に変更 【あり・なし】

◆ 冊子名簿への掲載について(希望する方に○をつけてください)

住 所 【掲載・非掲載】 〒

電話番号 【掲載・非掲載】

FAX番号 【掲載・非掲載】

携帯番号 【掲載・非掲載】

E-Mail 【掲載・非掲載】

※ アドレスを事務局宛にメール送信してください

<< 連絡方法 >>

1. 勤務先

2. 現住所

(送付を希望する方に○をつけてください)

<< 空欄の箇所がある場合、既に登録(届出)してある情報の変更はいたしません >>

会員の個人情報について「プライバシーポリシー」を定め、適切な取り扱い管理を行っています。
この届出が同窓生名簿原稿となることにご理解をいただき、氏名・回生・支部・役職・勤務先の名称、住所、電話番号は
掲載にご協力くださいますようお願い申し上げます。

※ 市町村合併に伴う住居表示変更・市内局番の変更に伴う電話番号表示変更につきましてもお知らせください。

※メールでの登録情報変更については

ob-jimu@kdu.ac.jp

宛にお問い合わせください

【お願い】

2024 年度版名簿発行以降に住所変更等の届出をされていない方は正確な情報を名簿に掲載することができるよう、裏面の『登録情報変更届』用紙をFAX・またはメールにてご連絡ください。

また、一般公開ページの下記のサイドメニューからの届出もできます。

市区町村変遷情報(市町村合併・市制変更等)による住所表示変更、電話番号表示変更についてもお知らせください。



※個人情報の保護のため、会員ご本人からの届出を原則とします。

URL : <https://inaoka82.com>

E-mail : ob-jimu@kdu.ac.jp



神奈川歯科大学同窓会事務局

〒238-8580 神奈川県横須賀市稲岡町 82

TEL:046-825-0524 FAX:046-822-3538

入学金
60万円
免除

2027年度 卒業生 推薦入試

神奈川歯科大学の卒業生推薦入試は、本学歯学部卒業生の推薦があれば、
どなたでも出願可能です！

卒業生推薦入試による、2027年度入学者は、入学金が全額免除されます！

入試日程

1期：11/14[±] 2期：12/5[±]
3期：1/9[±]2027 4期：3/20[±]2027

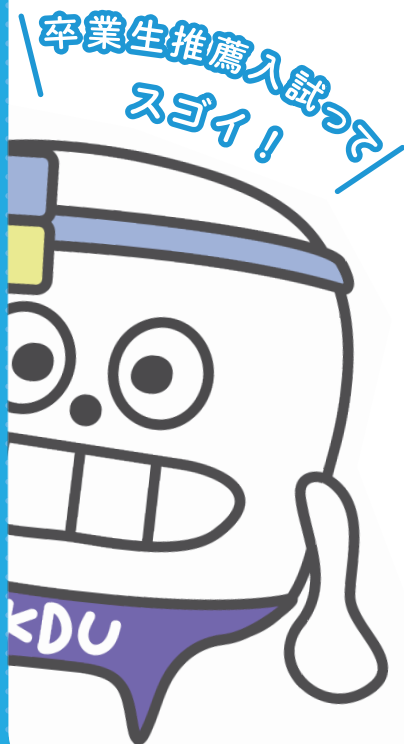
試験内容

小論文(400~600字)/面接

2026年度より
2項目で受験が
可能になりました！

出願書類

- ▶ 入学志願票
- ▶ 質問票
(本学HPよりダウンロード)
- ▶ 出身学校調査書
(または卒業証明書および成績証明書)
- ▶ 卒業生推薦書
(本学HPよりダウンロード)



2027 年度 神奈川歯科大学短期大学部

神奈川歯科大学短期大学部では、2027 年度入学者選抜より、
以下のような内容に変更いたします。

入試が
変わります！



1. 総合型選抜

① 総合型選抜 1 期 早期の意欲と成長支援

- 5 月、6 月、7 月のオープンキャンパスに参加することで、カレッジナビゲーションプログラムへの参加許可証を交付
- 第 1 回カレッジナビゲーションプログラムにて、課題文の書き方や面談の指導をし、出願許可証を交付。
開催日 8/20 木・8/21 金
- 出願条件は専願
- 合格者は入学金（¥300,000）を全額免除
- 小論文試験の廃止

② 総合型選抜を 5 期から 6 期に入試回数を増やします

③ 総合型選抜 2 期以降は併願可能とします。

推薦制度（卒業生・施設長）を利用して出願した場合は「専願」となります。

2. 学校推薦型選抜

- 小論文試験を廃止し、選考方法は、「調査書」と「面接」になります。



／CHECK！／

詳しい入試説明動画は、
こちらになります。



神奈川歯科大学短期大学部

歯科衛生学科 / 看護学科

〒238-8580 神奈川県横須賀市稲岡町82

< お問い合わせ > 教学部入試係

☎ 046-822-9580 (平日 9:00～17:00)

✉ nyushi-tandai@kdu.ac.jp

🌐 <https://www.kdu.ac.jp/dental/>



Thinking ahead. Focused on life.

Adverl SH

進化した「やさしい治療」

Er:YAGレーザーは、水を含んだ生体組織に対する蒸散能力が高く、表層にのみ反応が起こり、熱の発生が微小なため、痛みが少ないという特徴を持つ、人にやさしいレーザーです。

アドベールSHは治療に必要な機能をコンパクトなボディに集約したEr:YAGレーザー装置です。高パルス、高出力に加え、治療をナビゲートするプリセットモードで、さまざまな治療シーンに対応できます。



医科・歯科特化

新規開院 医療法人化 事業承継

税務・会計
TAX ACCOUNTING

SOLUTION
SERVICE

社労士業務
SOCIAL &
LABOR INSURANCE

医業経営
コンサルティング
MEDICAL MANAGEMENT



みなとみらい税理士法人
高田会計事務所

所長・税理士 高田一毅

〒220-0011 横浜市西区高島2-3-25 みなとみらいTAビル
TEL:045-285-8880 FAX:045-285-8881
E-mail: ta@ac-systems.co.jp